



2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 上場取引所 東
 コード番号 6425 URL <https://www.universal-777.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO兼CIO (氏名) 富士本 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼CFO (氏名) 麻野 憲志 TEL 03-5530-3055
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	35,502	28.0	4,760	104.7	3,159	△71.0	2,946	△64.8
2022年12月期第1四半期	27,735	89.1	2,325	—	10,906	—	8,362	—

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 10,714百万円 (△21.3%) 2022年12月期第1四半期 13,616百万円 (314.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	38.02	38.02
2022年12月期第1四半期	107.92	107.91

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第1四半期	600,972	360,030	59.9	4,645.76
2022年12月期	596,177	349,315	58.6	4,507.48

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 359,971百万円 2022年12月期 349,257百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
 2023年12月期（予想）期末配当は、未定としております。

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	27.7	23,500	94.5	25,700	84.5	20,000	73.8	258.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	80,195,000株	2022年12月期	80,195,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	2,711,046株	2022年12月期	2,711,046株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	77,483,954株	2022年12月期 1 Q	77,483,999株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想について」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 連結業績予想について	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(会計方針の変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(4) 追加情報	8
(5) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2023年12月期 第1四半期累計	売上高	営業利益	経常損益	親会社株主に帰属する 四半期純損益
個別(百万円)	11,734	393	△1,264	△1,484
連結(百万円)	35,502	4,760	3,159	2,946

遊技機事業においては、販売台数は24,903台となり前年同期比で12,836台減少した一方、統合型リゾート(IR)事業では、海外からのお客様の来場者数増加やフィリピン国内でも人気のある飲食店の誘致等により、来場者数が大幅に増加したことから売上高が増加しました。また前第1四半期においては、リース契約の解約による収益を8,550百万円計上し、円安ドル高の進行による為替差益4,097百万円ありましたが、当第1四半期においてはそのような多額の営業外収益の計上はありませんでした。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、35,502百万円(前年同期比 28.0%増)、営業利益は4,760百万円(前年同期比 104.7%増)、経常利益は3,159百万円(前年同期比 71.0%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,946百万円(前年同期比 64.8%減)となりました。なお、事業セグメント別の業績は以下のとおりであります。各業績数値はセグメント間売上高又は振替高を調整前の金額で記載しております。

①遊技機事業

当第1四半期連結累計期間における遊技機事業の売上高は11,145百万円(前年同期比 31.4%減)、営業利益は3,102百万円(前年同期比 41.3%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間における市場環境は、パチスロ機においては新基準6.5号機ならびにスマートパチスロが引き続きパチンコホールの期待に応える稼働を維持し、稼働水準の上昇に大きく貢献しました。パチンコホールの新台入替の軸は、パチンコ機からパチスロ機へと移行傾向にあり、低迷が続いていたパチスロ市場は順調に回復しております。

かかる状況下で当社は、市場から非常に高い評価を得ている『沖ドキ!GOLD』『パチスロ新鬼武者2』の増産販売を行いました。パチンコ機においては、『P真バジリスク～甲賀忍法帖～豪塊W319ver.』『Pバベル5000』の新機種2タイトルを市場導入いたしました。

②統合型リゾート(IR)事業

当第1四半期連結累計期間における統合型リゾート(IR)事業の売上高⁽¹⁾は24,117百万円(前年同期比 113.7%増)、営業利益は4,134百万円(前年同期 営業損失498百万円)となりました。また、当第1四半期における統合型リゾート(IR)事業の調整後EBITDA⁽²⁾は7,925百万円(前年同期比 226.2%増)となりました。

当社グループが運営する統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」は、フィリピン政府による新型コロナウイルス感染症対策に係る規制と緩和に対応しながら運営を続けてきました。第1四半期においては、フィリピン国内在住のお客様だけでなく、海外からのお客様も徐々に増加しており、業績は堅調に推移しております。また、「RED SPICE」や「割烹 今村」等のオカダ・マニラが運営する直営レストランと競合することのないフィリピン国内でも人気のある飲食店の誘致により相乗効果が生まれ、来場者数の増加に寄与しました。

その結果、第1四半期は非常に高い調整後EBITDAを記録し、パンデミックによる不況からの着実な回復と成長を見せております。

(1) 売上高は、総売上高からゲーミング税及びジャックポット費用を控除したものの

(2) 調整後EBITDA = 営業損益 + 減価償却費 + その他の調整項目

③その他

当第1四半期連結累計期間におけるその他の売上高は181百万円(前年同期比 1.4%増)、営業利益は158百万円(前年同期 営業損失27百万円)となりました。

メディアコンテンツ事業においては、『沖ドキ!GOLD』のシミュレータアプリをApp Store・Google Playにて配信し、有料アプリ・ゲーム・カジノカテゴリーでダウンロードランキング2位を獲得するなど大変好評を博しております。月額制サービスの「ユニバ王国」では『花火絶景』を配信し、基本プレイ無料のソーシャルカジノゲーム「スロットストリート」においても、パチスロ機『花火絶景』をモチーフにしたビデオスロットを追加し、計55機種となりました。楽曲配信では、アルバム『バベル』を主要サイトApple Music・Spotify・YouTube Musicをはじめとする24サイトへ提供いたしました。いずれのサービスも、機種数及び楽曲数を増やすことでユーザーの新規獲得と満足度向上に努めております。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期連結会計期間末における財政状態については、以下のとおりです。

総資産の額は、円安ペソ高により固定資産が増加した一方、現預金、受取手形及び売掛金の減少により、前連結会計年度末に比べて4,794百万円増加し600,972百万円となりました。

総負債の額は、連結子会社における長期借入金の返済による減少、未払金、未払費用の減少があったものの、円安ペソ高の進行によるリース債務の増加もあり、前連結会計年度末に比べて5,919百万円減少し240,941百万円となりました。

純資産の額は、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加、為替換算調整勘定についても円安ペソ高により増加したことで、前連結会計年度末に比べて10,714百万円増加し360,030百万円となりました。

この結果、自己資本比率は59.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

①遊技機事業

パチスロ機においては幅広いユーザーに支持される新たな6.5号機やスマートパチスロの市場導入、パチンコ機においてはゲーム性の幅が広がったスマートパチンコの本格的な市場導入による需要拡大等、今後一層の活性化が期待されます。

第2四半期においては、パチスロ6号機初のGODシリーズ、新基準6.5号機『アナザーゴッドハーデス-解き放たれし槍撃ver.-』の市場導入、大人気アニメ「メイドインアビス」の世界観や魅力を活かした『SLOTメイドインアビス』、パチンコ機では『Pやじきた道中記』の販売を開始しております。なお、いずれの機種もパチンコホールから高い評価を得て、受注台数は好調に推移しております。

当社は引き続き、独自性のある魅力的な遊技機創出に努めてまいります。またその魅力ある遊技機を通して、遊技機業界全体の活性化に貢献するとともに、販売シェアの拡大に努めてまいります。

(ご参考) 2023年12月期 パチスロ・パチンコ販売台数

	第1四半期	第2四半期(受注済)	第3四半期	第4四半期
販売台数(台)	24,903	50,000	未定	未定

(注) 第1四半期の実績については、「2023年12月期 第1四半期決算補足資料」

(<https://www.universal-777.com/corporate/ir/library/result/>) をご参照ください。

②統合型リゾート(IR)事業

2023年12月期は、新型コロナウイルス感染症による旅行などへの影響の減少により、海外からの訪問者数は回復基調が続くと予想されます。しかしながら、フィリピン観光省の発表によると、2023年の海外観光客の目標数は約480万人となっており、2019年に記録した約826万人にはまだ及ばない状況です。

かかる状況下でゲーミング事業については、引き続きフィリピン国内顧客層の拡大を目指し、フィリピン国内向けのオンラインゲームの規模拡大に注力し、マニラの所在するルソン島以外からの国内需要を取り込んでまいります。また、海外観光客の誘致を目的とした日本・韓国・タイ等のアジア市場でのマーケティング活動を積極的に実施します。非ゲーミング事業においても、クリスタルコリドーを利用した大型イベントの開催を継続することで、オカダ・マニラへの来場者数の増加を図ってまいります。

フィリピン最高裁判所が発出したSQA0 (Status Quo Ante Order: 原状回復命令) の撤回については、フィリピン弁護士が継続的に必要な法的手続きを行っており、引き続き判決等を待っている状況です。今後公表すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

③その他

メディアコンテンツ事業においては、引き続き高品質なシミュレータアプリや楽曲の配信を行ってまいります。月額制サービスの「ユニバ王国」及び基本プレイ無料のソーシャルカジノゲーム「スロットストリート」でも、コンテンツの拡充とサービスの改善、ユーザー満足度の向上に努めてまいります。

(4) 連結業績予想について

2023年12月期の通期連結業績予想につきましては、2023年3月23日に修正を行っております。詳細については、同日公表の「営業外収益、営業外費用の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、リース契約解除に伴う営業外収益、営業外費用の計上は、2023年12月期第2四半期での計上を予定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,895	33,993
受取手形及び売掛金	9,707	5,663
有価証券	2,179	2,264
商品及び製品	2,652	5,458
仕掛品	14,328	14,641
原材料及び貯蔵品	10,644	12,239
その他	13,187	12,217
貸倒引当金	△787	△797
流動資産合計	87,807	85,682
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	341,483	346,667
建設仮勘定	6,212	6,215
リース資産(純額)	49,363	50,443
その他	35,229	35,160
有形固定資産合計	432,289	438,487
無形固定資産		
その他	1,112	1,174
無形固定資産合計	1,112	1,174
投資その他の資産		
投資有価証券	16,265	17,083
長期預け金	8,179	8,237
関係会社長期預け金	32,189	32,394
その他	22,474	22,211
貸倒引当金	△4,743	△4,826
投資その他の資産合計	74,365	75,100
固定資産合計	507,766	514,761
繰延資産	603	528
資産合計	596,177	600,972

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,530	6,624
1年内返済予定の長期借入金	7,299	7,611
未払金	10,002	7,031
未払費用	23,074	20,790
未払法人税等	46	17
賞与引当金	80	280
その他	17,732	17,333
流動負債合計	65,765	59,689
固定負債		
社債	104,585	105,337
長期借入金	4,180	2,103
退職給付に係る負債	367	404
関係会社長期預り金	6,635	6,677
リース債務	57,464	59,414
その他	7,862	7,315
固定負債合計	181,096	181,252
負債合計	246,861	240,941
純資産の部		
株主資本		
資本金	98	98
資本剰余金	18,829	18,829
利益剰余金	338,932	341,879
自己株式	△7,317	△7,317
株主資本合計	350,542	353,488
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16	△28
為替換算調整勘定	△1,287	6,491
退職給付に係る調整累計額	18	20
その他の包括利益累計額合計	△1,285	6,483
新株予約権	58	58
純資産合計	349,315	360,030
負債純資産合計	596,177	600,972

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	27,735	35,502
売上原価	12,125	14,498
売上総利益	15,610	21,003
販売費及び一般管理費	13,284	16,243
営業利益	2,325	4,760
営業外収益		
受取利息	26	67
受取配当金	2	12
為替差益	4,097	1,434
持分法による投資利益	—	536
賃貸借契約解約益	8,550	—
その他	1,826	54
営業外収益合計	14,503	2,105
営業外費用		
支払利息	1,199	1,374
社債利息	1,649	2,248
支払手数料	2	4
持分法による投資損失	2,961	—
その他	110	78
営業外費用合計	5,922	3,706
経常利益	10,906	3,159
特別利益		
固定資産売却益	1	1
関係会社清算益	28	—
その他	2	—
特別利益合計	33	1
特別損失		
固定資産除売却損	0	2
臨時損失	818	—
特別損失合計	818	2
税金等調整前四半期純利益	10,120	3,158
法人税、住民税及び事業税	227	2
法人税等調整額	1,531	210
法人税等合計	1,758	212
四半期純利益	8,362	2,946
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,362	2,946

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	8,362	2,946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7	△12
為替換算調整勘定	5,241	7,778
退職給付に係る調整額	4	2
その他の包括利益合計	5,254	7,768
四半期包括利益	13,616	10,714
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,616	10,714
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

(臨時損失)

前第1四半期連結累計期間(自2022年1月1日 至2022年3月31日)

当社グループの連結子会社TIGER RESORT, LEISURE AND ENTERTAINMENT, INC.において、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を背景とした、フィリピン政府や、PAGCOR (Philippine Amusement and Gaming Corporation: フィリピンカジノ運営公社)の要請に基づき、統合型リゾート施設「オカダ・マニラ」における営業停止した施設の当該期間に係る固定費(減価償却費等)を、特別損失に計上したものです。

当第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日 至2023年3月31日)

該当事項はありません。

(4) 追加情報

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

当社の連結子会社である、TIGER RESORT, LEISURE AND ENTERTAINMENT, INC.は、当社の持分法適用関連会社である、EAGLE I LANDHOLDINGS, INC.との土地リース契約の一部を解除する契約を締結することを決議、2023年3月20日に当該契約を締結し、2023年4月1日に効力が発生しました。

当該取引により、2023年12月期第2四半期の四半期連結損益計算書の営業外損益の区分において関連する損益を計上し、経常利益が約153億円増加する見込みです。